

ロシアによるウクライナ侵略に抗議し、平和的手段による解決を求める声明

「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」

(マタイによる福音書 26 章 52 節)

私たち日本キリスト改革派教会は、本年2月24日から始まったロシアによるウクライナへの侵略行為に強く抗議するとともに、ロシア軍がすみやかにウクライナから撤退し、平和的手段による紛争解決に努力することを求めます。

1. ウクライナへの軍事侵攻は国連憲章に違反する侵略行為です

国連憲章の第1章第2条は、すべての加盟国に「その国際紛争を平和的手段によって国際の平和及び安全並びに正義を危うくしないように解決しなければならない」、「国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも慎まなければならない」と求めています。さらに、第6章第33条においても、国際紛争の平和的解決追求の義務が明記されています。

しかし、このたびのロシアによるウクライナへの軍事的な侵略行為は、このような国連憲章の精神を無視する、国際法における法と正義の秩序を踏みにじる侵略行為であり、ウクライナの人々の生命や人権を脅かし否定するものにほかなりません。両国間の紛争は、時間をかけて平和的手段をもって解決されるべきものであり、それ以外に真実の解決はありません。今回のような軍事力によって一方的に現状変更を企てる行為は、ヨーロッパ全域にさらなる混乱をもたらすのみならず、世界全体の平和と安定に逆行する行為です。さらに、ロシアのプーチン大統領によって表明された核兵器による威嚇やその使用は絶対にあってはならないことです。私たちはプーチン大統領のこうした発言に強く抗議するとともに、すべての核保有国が核兵器禁止条約を批准し、核廃絶に向かうようにも求めます。

2. ウクライナとロシアのためのとりなしと和解を祈ります

ロシアによるウクライナへの軍事攻撃が行われている中、ウクライナの一般市民、特に幼い子どもたちも戦争の犠牲になっています。また、ロシア軍、ウクライナ軍の双方にも犠牲者が生まれています。戦争によって、人間がかけがえのない命を奪い合うことは、命の創造者であり、愛と恵みに富んだもう神に敵対する大きな罪です。失われてよい命は一つもありません。平和の主イエス・キリストから平和を実現する者としての使命を与えられている私たちは、武力(=剣)は決して平和をもたらさず、武力を用いる者は武力によって滅びるという真理を改めて主張し、ロシアには即刻軍事攻撃を中止し、撤退することを求めます。そして、いま戦争の渦中にあるウクライナの人々の上に、主イエスの慰めと励ましがあり、両国に真の和解が実現するように強く祈ります。

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる」

(マタイによる福音書 5 章 9 節)。

2022年 3月 4日

日本キリスト改革派教会

大会 宣教と社会問題に関する委員会

委員長 弓矢健児